



平成 27 年 1 月 27 日

各 位

上場会社	株式会社 九電工	
代表者	代表取締役社長	西村 松次
(コード番号	1959)	
問合せ先責任者	経営戦略企画室長	加藤 慎司
(TEL	092-523-1696)	

中期経営計画（2015 年度～2019 年度）策定に関するお知らせ

当社は、別紙のとおり中期経営計画を策定し、平成 27 年 1 月 27 日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

以 上

中期経営計画（2015年度～2019年度）の概要

当社グループは、これまで将来ビジョン『ありたい姿』の実現に向けて、『高収益体制の再構築と新たな成長軌道の確立』をメインテーマとする中期経営計画（2010年度～2014年度：5カ年計画）に取り組んでまいりました。

この間、東日本大震災を機に経営環境が大きく変化する中であって、収益改善に向けた効率的な施工管理体制の整備と徹底した原価低減を推し進めるとともに、再生可能エネルギーの固定価格買取制度導入に対し、いち早く営業・施工体制を整備して受注の拡大に取り組んだ結果、工事受注高及び売上高は大幅に増加し、採算性も大きく改善するなど、所期の目標を大きく上回ることができました。

今後、政府の成長戦略の推進に伴う本格的な景気回復が期待される一方、海外経済の動向や円安の進展、財政再建問題やエネルギー政策など、先行き不透明な状況は続きますが、当社グループは、多様化・高度化するお客さまのニーズに的確に対応し、常に高い品質とサービスの提供に努めるとともに、業績が好調なこの機会に成長戦略を一層加速させ、さらなる業容の拡大に向けて挑戦を続けてまいります。

その実現のために、2019年度を最終年度とする中期経営計画（5カ年計画）を新たに策定し、「九州における安定的な基盤確立」、「首都圏事業の強化」、さらに永続的な課題である「人財の育成」を成長戦略の柱に、「営業力」、「技術力」、「現場力」、そして「成長力」を一層強化させ、たとえ経営環境が変化しても熾烈な競争を勝ち抜くことができるグループの総合力向上に取り組み、さらなる飛躍を目指してまいります。

1. メインテーマ

中期経営計画 2019 さらなる飛躍への挑戦 ～新しい成長のステージへ～

2. 重点取り組み施策

- お客さまの信頼と期待に応える「**営業力**」の追求
 - ・アフターサービス体制の充実
 - ・首都圏における経営基盤の強化・拡大
 - ・ソリューション営業の拡充
 - ・CSR経営の徹底
- 競争に打ち勝つ「**技術力**」の進化
 - ・徹底した品質の確保とコスト競争力の強化
 - ・配電工事部門における採算性向上
 - ・エネルギー分野における研究・開発の促進
- 収益を生み出す「**現場力**」の向上
 - ・施工戦力の充実強化
 - ・生産性向上に向けた効率化の推進
 - ・関連会社の強化
- 未来へ飛躍する「**成長力**」の強化
 - ・次世代を担う人財の育成
 - ・海外における経営基盤の強化
 - ・再生可能エネルギー発電事業の推進
 - ・新たな領域での事業開拓

3. 数値目標（連結）

	2020年3月期目標
売上高	3,500億円
売上総利益率	12.0%以上
営業利益率	6.0%以上
R O E	10.0%以上